

## 2022年度 第6回講演会 参加者アンケート集計結果

### アンケート集計条件 (講演会実施日：2023年2月18日)

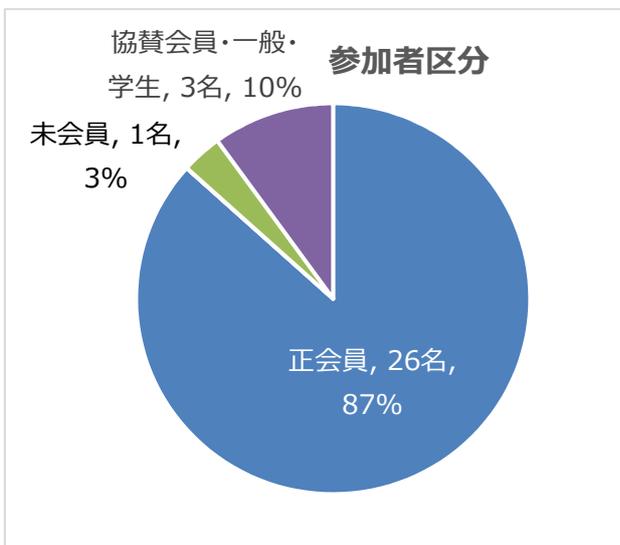
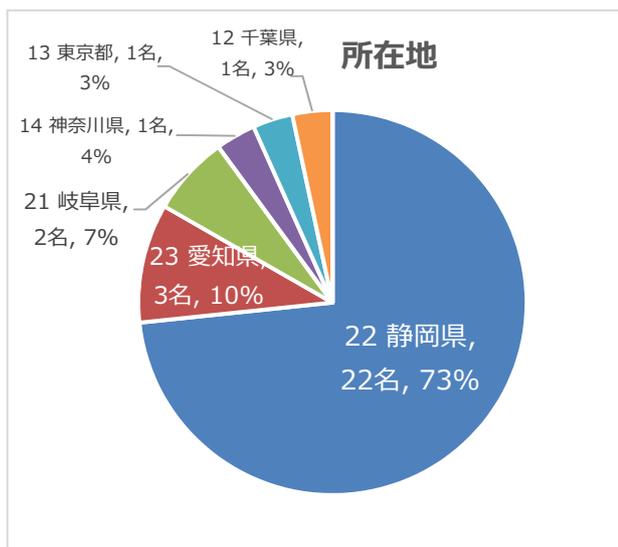
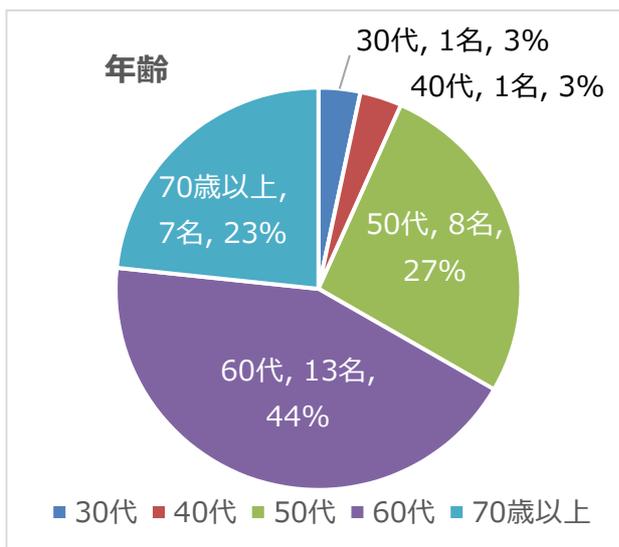
アンケート回収方法： Google フォームを活用した Web 経由による回収

アンケート回収期間： 2023年2月18日から3月4日 (14日間)

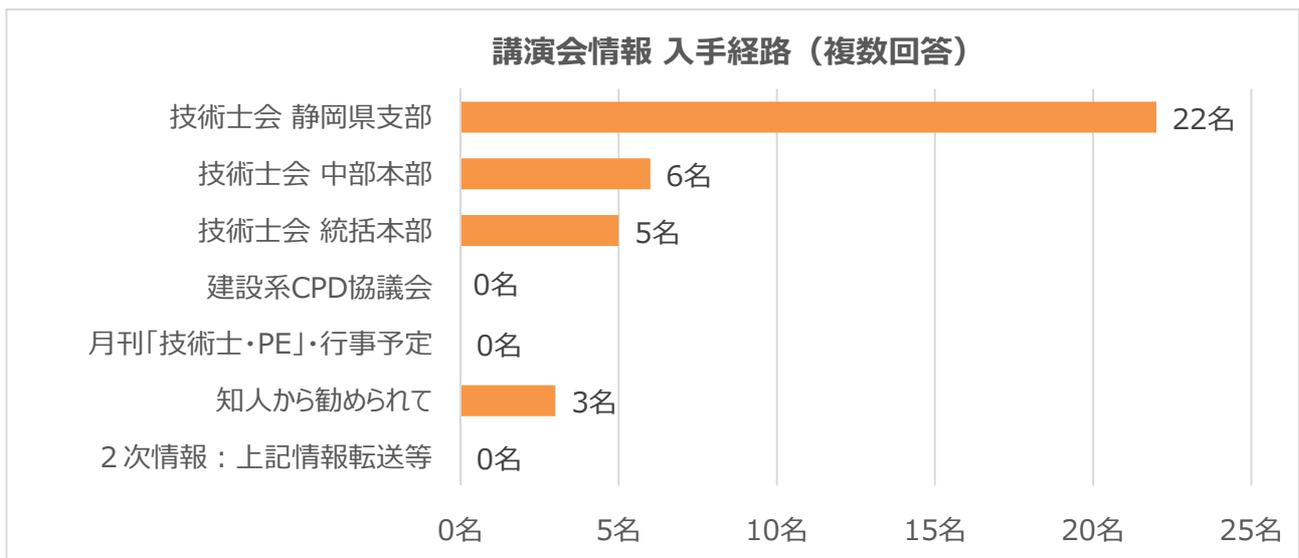
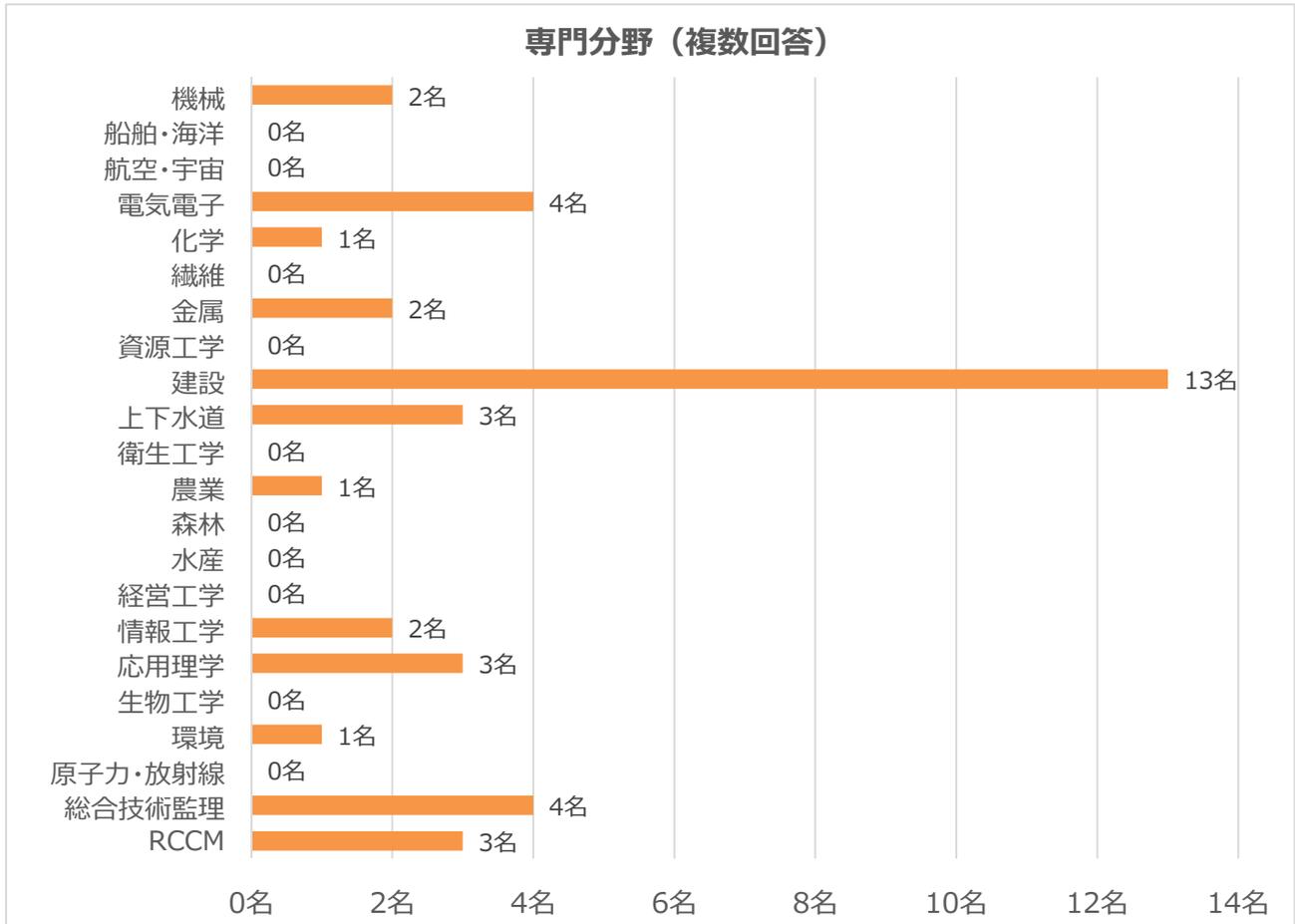
アンケート回収件数： 31名 (重複回答を除く)

アンケート回収率： 97% (講演会参加者 32名)

### 講演会 参加者情報

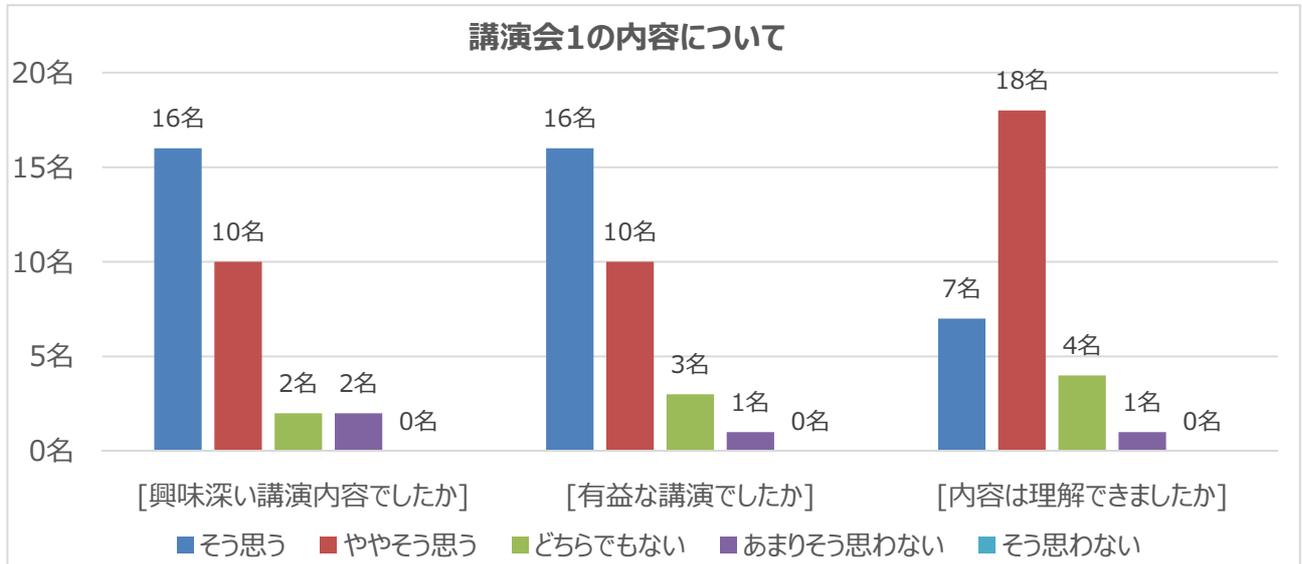


## 講演会 参加者情報

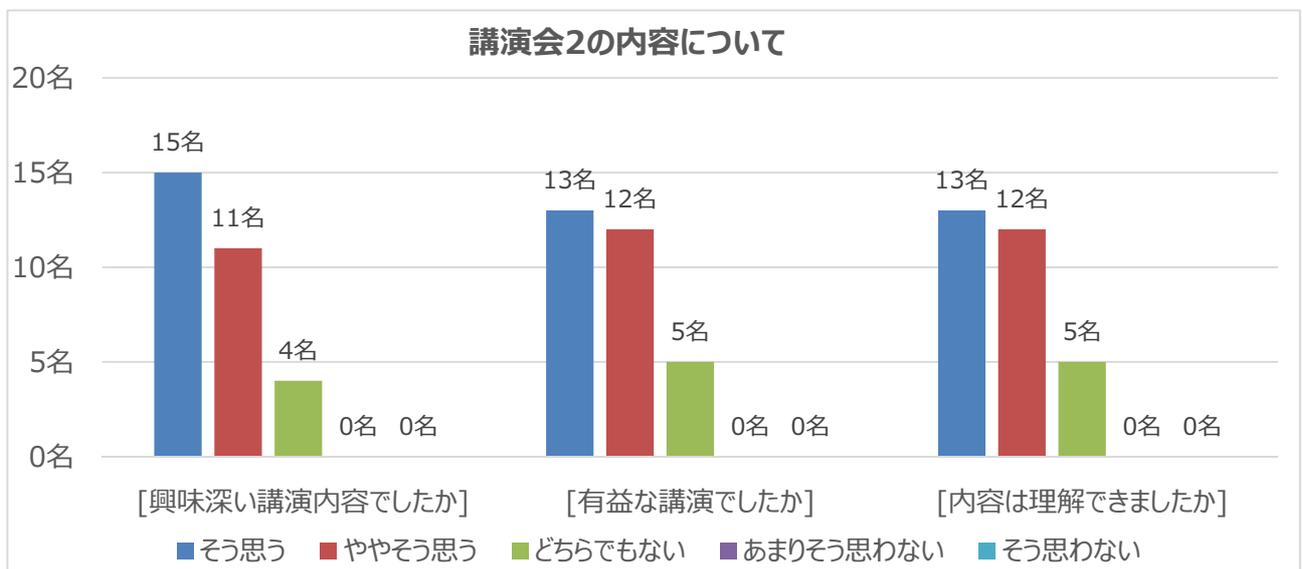


講演会の内容について（参加者のコメントは別紙①参照）

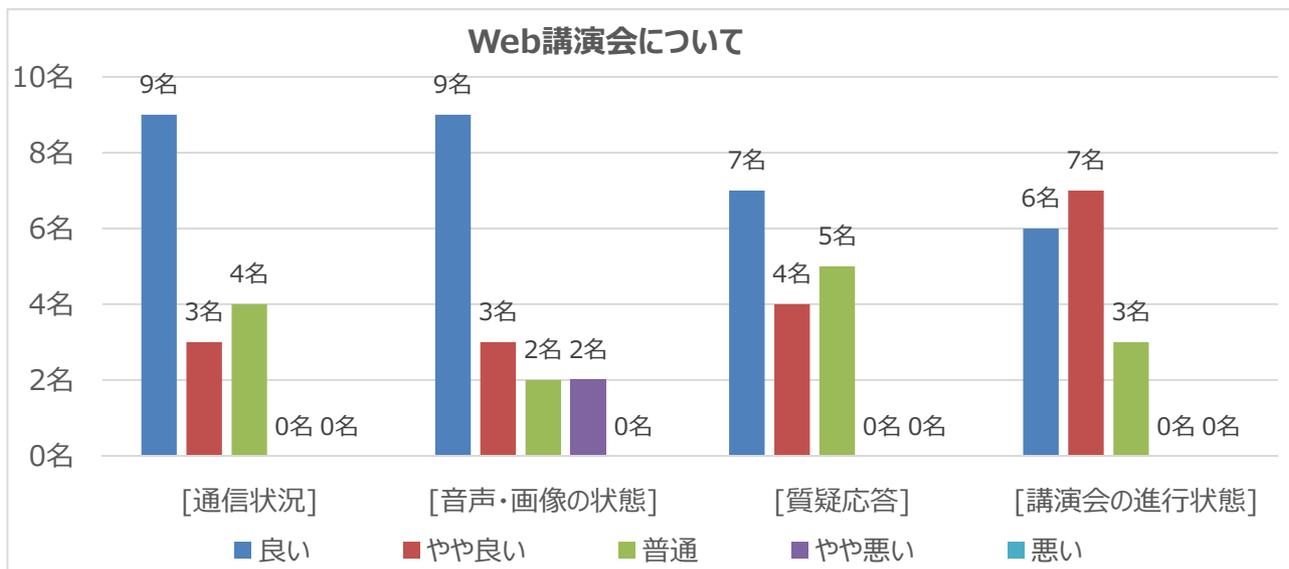
講演 1 「技術者倫理：『塔』を使って、考え、行動する力をつけよう」



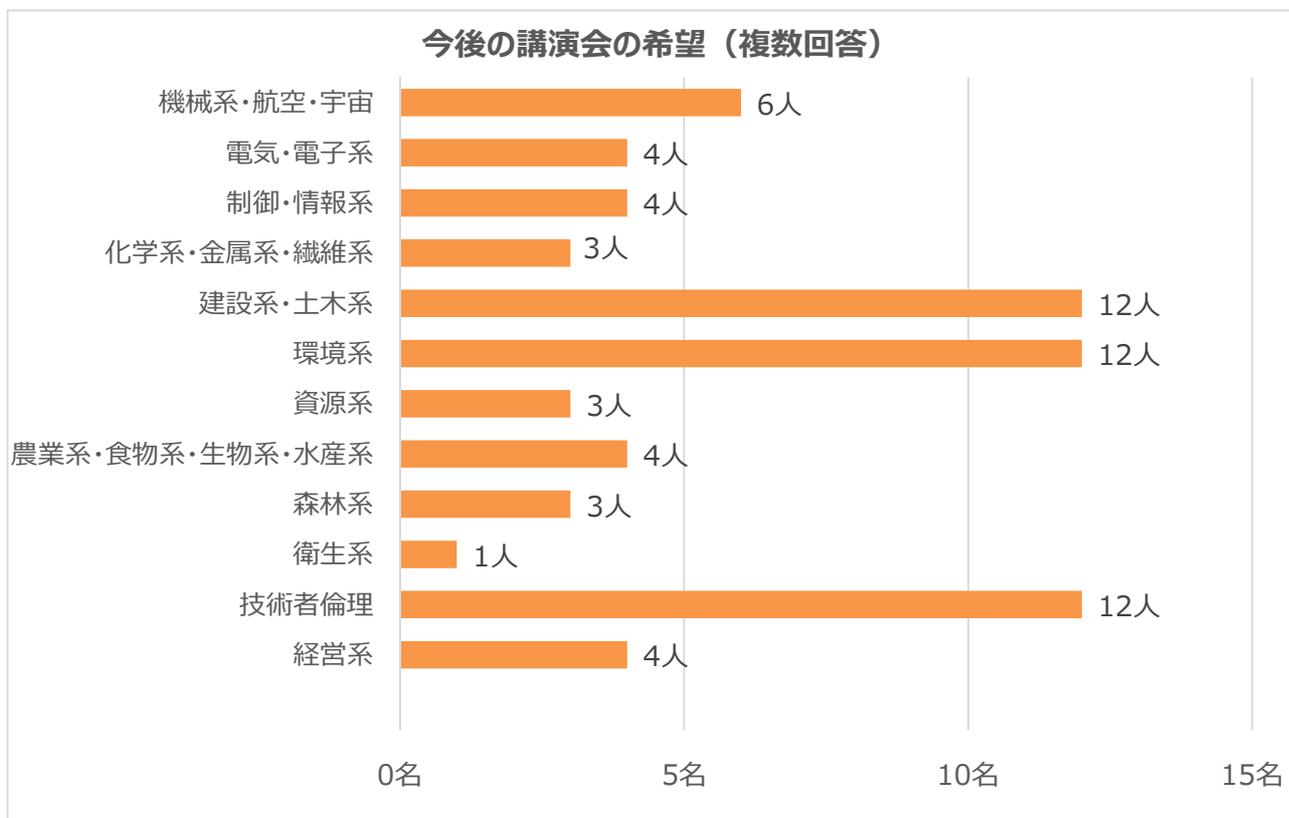
講演 2 「新型コロナウイルス感染症対策と今後について」



## Web 講演会について



## 今後の講演会の希望





## 別紙①-1 講演 1 「技術者倫理：『塔』を使って、考え、行動する力をつけよう」 コメント（13件）

- 倫理問題にからめ、紹介された本を読んでみようと思います。
- 認知バイアスに非常に共感できた
- 技術者倫理の講習が中々ないため興味深く聞かせて頂きました。私ども土木関連の業界は、発注者に対して技術者倫理を背景として説明しにくい業界だと感じています。もう一度初心に返って技術者倫理を見直したいと思います。
- 無関心の人に関わってご理解をいただくことの難しさに考えさせられる。
- 多面的に考えたいと思います。
- 非専門家は、表面しか見ていないが、専門家は全体像が見える、両者の対話が必要などや、スマホをまったくやらないより、1～2時間時間を決めてやる自制心を身につけるなど、多くの観点から考える姿勢が大切であることなど参考となった。紹介された書籍等でも学んでいきたいと感じた。
- 「悲しみを技術でケアできるか」という言葉が気になりました。ご紹介いただいた本を読んでみようと思います。
- 早速、帰りに「スマホ脳」を買って帰りました。すごく良いお話ありがとうございました。
- 講演の冊子を事前に出力しておいたので、話を聞きながらメモを取ることができました。出力していなかったら、ほとんど話の内容はわからなかったと思います。スマホで「スマホ脳」、「最強脳」を調べたら、静岡市立図書館にあるようなので、今度借りてみようかなと考えています。「鋼鉄と電子の塔」は、まだ図書館では検索できませんでした。今後、借りられれば、借りてみたいと考えます。
- 有益な情報が多々ありました。
- お忙しいところ、ありがとうございました。技術者倫理を語る時（語られるとき）、一技術者の頑張りや正義等について取り上げられることが多いと感じます。一般社会では、日本語としての「倫理」や「哲学」への遠慮や拒絶が多いと感じています。より多くの方々と「倫理」を共有・共感できる行動等について、解説いただきたいと思いました。
- 専門家と非専門家とのコミュニケーションが基礎であることを確認した。リスクは発生頻度 × 被害の甚大さに人文科学的要素（人々がどう感じるのか）の考慮が大切であることを学んだ
- ・スマホを1時間見る程度の学生は勉強がよくできる。  
・内部通報はコミュニケーション不足が原因。  
・関心を持って行動につなげステイクホルダーとコミュニケーションを取り、信頼関係を築き新たな発見を見出す。  
・スマホを利用した横領事件など対策に性悪説に立った技術的対策を行うべき。  
などこれまで知識として知らなかった内容が印象的であった。



## 別紙①-2 講演 2 「新型コロナウイルス感染症対策と今後について」 コメント (12 件)

- マスクの着用に関しては、私も基本的な公衆衛生の問題だと思います。
  - 静岡県の現状がよく理解できた。
  - コロナの感染力等が変わっていない中で、5 類に移行することに疑問を持っています。5 月以降流行の波が来ないことを祈っています。
  - P.C.を使って WEB によって仕事の何割かができることを実感して働き方が幅広くなった。
  - 県民への広報伝達を明確に願います。
  - コロナパンデミックの分析を通して、それらの経験も活かし、社会経済活動との両立が大切で、建物や設備の換気対策等を行うとともに、業務継続計画（BCP）などにも感染症対策の観点も必要であるとの観点は共感できるものであった。
  - 3 月 13 日以降、マスクが個人の判断になるとのこと。マスク無しで生活するのが、一番なのだと思いますが、事業所などの取扱いはまだわからないとの事なので…混乱を招きそうですね。
  - 家では、毎日の新型コロナ感染者数をグラフにまとめています。感染者数の範囲が様々で、グラフ用紙の編集が大変です。静岡県内での最多は、9475 人かと思いますが、今後、2 倍になるようなことがあるのでしょうか。3 月末にまた、流行になるかもしれないと聞き心配です。
  - 現時点で情報を知ることができました。
  - お忙しいところ、ありがとうございました。感染者の数や比率等について、メディアや国民の関心が多く思います。感染者数等は、生活エリアや習慣（会社員、電車通勤、車通勤、主婦、自営等々）による感染の差があると思います。マスク着用について、個人の判断に委ねられるとの講演でした。例えば、静岡県庁職員のコロナ感染者数の経過を公表いただけると、我々の判断材料の一つとできると思います。
  - 正しい情報を正しい経路で入手し、行動することの大切さを学んだ
  - コロナ社会と経済活動の両立に
    - i) 対策に要するコストの認識、コストを許容する意識の醸成。
    - ii) 企業活動等の BCP にコロナ対応を入れる。
- など、コロナと付き合いながら社会経済活動を行っていくことを意識すべきと再認識した。



## 別紙② その他・全体コメント (9件)

- 講演内容、講師の派遣はその調整が大変だと思いますが、是非継続してほしい。
- 可能な限りハイブリット開催は続けていただきたいと思います。
- 有り難うございました
- 本日の講演の運営は素晴らしいと感じました。
- 現行の内容でよいと思います
- 講演内容、時間とも適度なもので良かったと思う。やはり、対面での講演会が一番良いが、遠方の開催のものも聴講できる、この Web 開催併用はコロナが収束しても継続していただきたいと思う。
- いつも講演は旬の話題を取り上げてくれている事を感じていますし、先生方の話もうまくて、聞き入ってしまいます。
- 事前に資料があれば、講演を聞くのに助かります。まったく初めての内容には、聞くのに限度があり、睡魔に襲われてしまいます。わがままな希望で申し訳ありません。
- 炭素系エネルギーは、産出国に左右される。太陽光発電は、中国に左右される。風力発電は、ヨーロッパに左右される。といった状況にあります。エネルギー自立が厳しい我が国にとって、自然エネルギー、炭素系エネルギー、発電等に関して、利権のない、偏りのない、フラットな比較や評価（コスト、環境、自立等）の講演を期待します。

たくさんの貴重なご意見ご要望を寄せていただきました。

本項で頂いた貴重なご意見、ご要望は今後の例会運営の参考とさせていただきます。 ご協力ありがとうございました。

以上